



クリエイター部がやるべきこと

「ジワジワ」とは
食、暮らし、文化、自然。すべてを包み込む地(ジ)元の輪(ワ)を、ジワっと大きく、ジワっと豊かに。地域のつながりをゆきり深めるフリーマガジンです。

私たち「デザイナーやプランニング・商品開発などの技術を持つ専門家です。具体的な職業は、デザイナー・カメラマン・ライター・イラストレーター・ブランダーなど。生産者の想いや地域の生産品、価値ある情報を伝えるため、効果的な方法を考え、チラシや商品ヘッダーなどのツールや広報ブランディング・商品開発などを、市内から周辺地域、さらに全国へと伝えることが、私たちクリエイター部の役割だと考えています。

クリエイター部がやるべきこと

「ジワジワ」とは
食、暮らし、文化、自然。すべてを包み込む地(ジ)元の輪(ワ)を、ジワっと大きく、ジワっと豊かに。地域のつながりをゆきり深めるフリーマガジンです。

私たち「デザイナーやプランニング・商品開発などの技術を持つ専門家です。具体的な職業は、デザイナー・カメラマン・ライター・イラストレーター・ブランダーなど。生産者の想いや地域の生産品、価値ある情報を伝えるため、効果的な方法を考え、チラシや商品ヘッダーなどのツールや広報ブランディング・商品開発などを、市内から周辺地域、さらに全国へと伝えることが、私たちクリエイター部の役割だと考えています。



特集

「デザインは伝えたい想いや考えを
“カタチ”にできる

「クリエイター部」は、木津川市農政課の農プロジェクトの一環として、2016年に発足しました。目的は、地産地消をクリエイティブな方面からサポートしていくことです。木津川市に住んでいるクリエイターが中心です。

クリエイター部には、部員たちで共有している理念があります。それは「デザインは伝えたい想いや考えを“カタチ”にできる」ということ。この理

念を、多くの方に実感してもらうため、私たちはさまざまな活動に取り組んできました（紹介は中止）。

活動をはじめて4年、多様なカタチで、生産者や事業者の方々の想いや考えを発信する中で、私たち自身に地場産品がより身近な存在となり、また、市民の方々の地産地消への関心の高まりにも、確かな手ごたえを感じています。

今、私たちが次のStepへコマを進めます。「食」をキーワードに、木津川市の魅力を、より広く伝えたい。この土地で生み育まれたモノや活動を、市民の目線で発信し、一人でも多くの人の暮らしを豊かにするために活動したい。そのためクリエイター部は、人と人の出会いや繋がりを生む土台・プラットホームを作ります。それが、この「jiwa jiwa」。新創刊したフリーマガジンを「伝えたい想いや考えをカタチにする」ためのコミュニケーションの足場とし、地域社会と市民の暮らしを豊かにしていきたいと考えています。



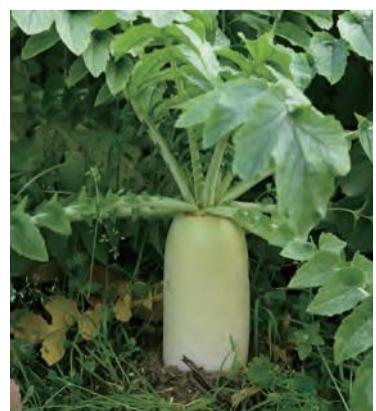
農(みのり)プロジェクトとは…
木津川市の“おいしい”をもっと身近に地産地消の推進を通して、地域的魅力を高める取り組みです。

【問合せ】木津川市農で頑張る協議会事務局：木津川市マチオモイ部農政課電話：0774-75-1220

ほっこり あったか 大根で冬ごはん



鍛田 武志（かたたけし）さん
「梅谷大根は、まっすぐな形で、味も素直。みずみずしくて芯までやわらかいので、どんな料理にでもあうと思います。僕自身は、大根を入れた豚汁が一番好きです。大根そのものの旨みや味は、それほどはっきり感じられるものではないですが、主張し過ぎない特有の風味や香りが出汁に溶け出すような気がします。大根は、保存しても品質が落ちにくいと言われています。冷蔵庫でしばらくたつてしまって、少しへんやつてきてても心配しないでください。水分が抜けて、味浸みが良くなり、煮物にすると美味しい食べられますよ！」



冬野菜の主役として、市内各地域で生産されている大根。なかも梅谷地区は、大根の生産地として知られています。

「梅谷の畑では、大根がよくできるんです。他の野菜も栽培しましたが、成長や収量の差はつきりしていました」と話す農家さん。秘密は、梅谷の砂地の土壤。栄養分に偏りがなく、水掛けが良いせいか、大きくて、味の良い大根が育つと言われています。

おでんや鍋物などの冬の定番料理はもちろん、サラダや洋風料理にもレンジできる対応力の広さが大根の魅力。市内産の新鮮ものは、葉っぱまで美味しいだけです。低カロリーで、消化を助けるという大根を、丸ごとたっぷり味わいましょう！